

■一般目標 (GIO)

高齡者のライフに焦点を当て、歯科衛生士の役割を理解し、チーム医療メンバーと連携するために必要な知識・技術および態度を身につける。

■到達目標 (SBOs)

- ・訪問歯科の仕組みについて説明できる。
- ・訪問歯科における全身状態および口腔内状態の測定ができる。
- ・訪問歯科における歯科衛生士の役割が説明できる。
- ・緩和ケアおよびターミナルケアについて説明できる。
- ・緩和ケアおよびターミナルケアにおける歯科衛生士の役割を検証できる。
- ・チーム医療の概念について説明できる。
- ・口腔健康管理について多職連携が想定できる。
- ・他学年に指導するための授業準備ができる。

■教科書：最新歯科衛生士教本 高齡者歯科 第2版(医歯薬出版)

■参考書：有病者歯科学 (永末書店)

歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション第2版(医歯薬出版) 歯科衛生士講座

■授業時間：水曜日 9：00～11：50

■オフィスアワー：中澤 広美 (nakazawa.hiromi@nihon-u.ac.jp)

月曜日～金曜日 9：00～17：00

■授業の方法：・講義：教科書とレジュメ，プロジェクターを利用
・グループワークおよびプレゼンテーション
・実習：知識，技術，態度を深めるための相互実習

■準備学習・ 事前に教科書を読み講義内容を予習しておくこと。

準備学習時間：復習は教科書，プリントを合わせ，理解を深めること。

実習は，実習内容のプリントを読み理解を深めておくこと。
掲示を確認し，実習準備を行うこと。

授業後，実習後は振り返りを行い，復習すること。

■成績評価方法：定期試 80%，実習に臨む姿勢（課題提出）20%を総合評価

■注意事項：グループ学習は積極的に参加すること。実習の時は身だしなみを整え，忘れ物をしないこと。実習を欠席した場合は補習対象になるが，補習を欠席した場合の補習は原則認めない。

■実務経験：中澤 広美：大学病院，総合病院，高齡者福祉施設、児童福祉施設での勤務経験を基に，社会のニーズを取り入れた学べる場を提供したいと考えている。また経験を基に，歯科衛生士の立場から口腔内だけでなく，身体的，精神的に援助するために必要な理論および技術を学べる場にしたいと考えている。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1・2・3回 4月9日 中澤 広美	訪問歯科診療について 訪問歯科における歯科衛生士の口腔健康管理	・在宅医療について説明できる。 ・訪問歯科診療の仕組みについて説明できる。 ・訪問先でのマナーについて予測できる。
第4・5・6回 4月16日 中澤 広美	歯科衛生士介入に必要な高齢者の全身状態および口腔内の評価（実習）	・バイタルサインおよび筋量・脱水量等の測定が実施できる ・口腔内の状態の評価および評価方法が説明できる。 ・ミールラウンドで得られる情報を列挙できる。 ・チーム医療について説明できる。
第7・8・9回 第10・11・12回 4月23日 4月30日 中澤 広美	訪問歯科で歯科衛生士が実施する口腔健康管理Ⅰ 半数：実習 半数：課題	・対象者を想定し、必要な器材が準備できる。 ・対象者の身体および周辺的安全確保ができる。 ・全身状態を評価および口腔内を評価し、適切な口腔健康管理が実施できる。 ・チーム医療メンバーに口腔健康管理方法について説明できる。
第13・14・15回 第16・17・18回 5月7日 5月14日 中澤 広美	訪問歯科で歯科衛生士が実施する口腔健康管理Ⅱ 半数：実習 半数：課題	・ミールラウンドのチェックポイントが実践できる。 ・口腔機能管理の評価ができる。 ・口腔衛生管理および口腔機能管理指導ができる。
第19・20・21回 5月21日	緩和ケア・ターミナルケアにおける歯科衛生士の役割Ⅰ	・緩和ケアおよびターミナルケアの概要が説明できる。 ・緩和ケアおよび緩和ケアにおける歯科衛生士の役割を討論できる。
第22・23・24回 第25・26回 5月28日 6月11日	緩和・ターミナルにおけるIPEⅠ・Ⅱ	・チーム医療について説明できる。 ・口腔健康管理について多職種に説明するための指導ポイントを検証することができる。 ・多職連携を想定し、口腔健康管理についての情報提供について説明できる。

授業日・担当者	講 義 項 目	学 修 目 的・到 達 目 標
第 27・28 回 6 月 18 日 中澤 広美	高齢者の生活機能評価と口腔健康管理	・ 高齢者の生活機能評価が説明できる。 ・ 高齢者の口腔健康管理の方法が説明できる。 ・ 他学年に指導するためのプレゼンテーションの準備ができる。